

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

# アンコールワット

発行日:2018年(平成30年)9月1日 《年6回・奇数月発行》 会報 第102号

特定非営利活動法人(NPO法人)  
21世紀のカンボジアを支援する会

(AAC21) ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203  
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213  
E-mail:info@aac21.net

【カンボジア事務所】Phon Preytea, Sangkat Chaom Chao, Khan Por Senchy  
Khan Por Senchy, (Borey Newtown) Phnom Penh  
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707

【ホームページ】 AAC21 [検索](#)

【公式ブログ】 メコンの風に吹かれて [検索](#)

【Facebook】 <https://www.facebook.com/aac21.net> [検索](#)

## 「夢ホーム・里子訪問の旅」に会員15名が参加

7月5日〜11日、15名の本会会員が参加し第39回「夢ホーム・里子訪問の旅」を実施した。(前身のふれあいの旅を加えると39回になるため、以後通算回数で表記)

このツアーは本会の会員向けに実施されるため、非会員で参加を希望する方には会員手続きをお願いした。  
5日、午前中成田空港に集合し、直行便で一路カンボジアの首都プノンペンへ。

6日、千田貞四郎さん(岩手県奥州市)が寄贈した井戸とトイレ棟の贈呈式に出席、生徒たちに学用品を配布し、しばし交流した。

7日、悲劇の跡地視察として「トゥールスレン博物館」と「キングフィールド」を見学、内戦時代、欧米人記者のたまり場だった「FCC」レストランで昼食した。当時のカメラマンが

撮った写真が建物の壁に多数展示してあった。  
この日、オブシヨナルツアーとして6名が「アンコールワット観光」に参加した。  
8日、本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」(児童数12名)を訪問、子どもたちと交流した。

9日、村で暮らす教育里子を2班に分かれて訪問、里親さんを中心に里子と交流した。  
10日、午前はプノンペン市内観光、午後は自由行動とした。  
その日の夜に直行便で帰国、11日の早朝に成田国際空港に着いた。



勉強頑張ってるね!



夢ホームを訪問しました

## 夢ホーム園長、ソン・チャエム氏逝去

7月7日、本会がカンボジアで運営する児童養護施設「夢ホーム」(児童数12名)の園長を務めたソン・チャエム氏が肺がんのため逝去した。68歳だった。  
ソン氏は2012年夢ホーム園長に就任、約7年間にわたり、熱心に子どもたちのお世話をしてくれた。  
あの素朴な眼差しを一生忘れない。  
7月8日、自宅で営まれた告別式に根岸理事長と現地スタッフが出席した。



葬儀は3日間行われました

## カンボジアに滞在して思うこと

NPO法人21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸恒次

取れる言葉が、滞在中日本から聞こえてきた。

カンボジアに来て驚いたことがある。首都プノンペンの交通事情の激変だ。

前回の訪問が5月だから、たった

化が進んでいるように思えた。恐るべしカンボジア!

今年、5年に一度の総選挙が7月29日に実施される。本会報が読者の元に届く頃には、大勢が判明していることだろう。

7月5日〜20日、カンボジアに滞在した。2ヶ月間でリキシャ型トゥクトゥクが増えたこと。

カンボジアは雨季に入り、朝晩とても涼しく、記録的猛暑の日本を脱出し、一年中温暖なカンボジアで避暑したいという、冗談とも本音とも増え、ある意味、日本よりハイテク

粗末な葺き屋根の、6畳程度の小さな家で、家族8人が寄り添って暮らしていた。

スラム街に住む里子の家は、来週にも家を出なければならぬと言っていたが、行き先はまだ決まっていなという。その後どうなったの

毎年、選挙が実施される前は、与野党双方のデモが行われ、騒然とした中で投票日を迎えてきたものだが、今年は実に静かな選挙年だった。

本会はNGO団体であり、政治については中立的立場ではあるが、自由が言えない社会にはなっていないと思う。  
滞在の合間を縫って、30人の里子の家を訪問した。

か、とても気になる。

滞在中も終盤になり、小学校の校舎建設を前提としたリサーチのため、プレアピヒア県を訪れた。

途中で車で行けたが、大雨のため道路が寸断され約1時間、バイクタクシーに乗るはめになった。  
途中でバイクがぬかるみにはまって転倒した瞬間指が高温のエンジンに触れ、名譽の火傷を負った。

川を越えた

良かったが、良い思い出ができた。



増水した川をバイクで渡りました



## カンボジアの子どもたちをサポートしてください

### クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

例えば73年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。



里親さん、ありがとう

【教育里親会費】 子ども1人につき 1年間3万円。

- ・内訳  
子どもへ直接支援する額=12,600円(42%)  
年会費(会の運営に回す額)=17,400円(58%)
- ・子どもへの直接支援額を高めるよう努力しております。
- ・一括納入、分割納入(毎月、年3回、年2回)のどちらでも可。所定の郵便振替用紙を使いお振込みください。

【支援する期間】 少なくとも子どもが学校を卒業するまでの間、支援して頂けたら幸いです。やむを得ず子どもが中退する場合もありますが、その際は別な子どもの支援をお願い申し上げます。

【子どもとの交流】 子どもからは概ね6ヶ月に1度、近況を報告する手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。  
・里親から手紙、プレゼントを届けることができます。(子どもから写真とお礼の手紙が届きます)  
・年3回実施の「里子訪問の旅」に参加し、里子に会うこともできます。

本会の公式ブログ「メコンの風に吹かれて」を毎週1~2回更新しています(ホームページの中にあります)

### 寄贈した校舎などの 再点検プロジェクト(第2回)

7月13日、平古場副理事長と及川副理事長が、過去に寄贈した校舎(2校)をアポなし訪問、現況をリサーチした。

①アungkron小学校  
(コンボンズプー県、生徒数1196人)  
・2008年に静岡県の会員が校舎1棟、井戸1基、遊具一式を寄贈。  
《点検者の所感》校舎などの建物は特に傷みなく、丁寧に使われている。生徒たちの身なりも整っており、首からネームプレートがぶら下げていて好感持たされた。

②テイネンチャムパーチャー小学校  
(コンボンズプー県、生徒数149人)  
・2004年に大阪府内の企業が校舎を1棟寄贈。  
《点検者の所感》寄贈された校舎は特に傷みなく、丁寧に使われていた。生徒たちの躰けにや



ネームプレートを下げている生徒を初めて見ました

や難あり。また洗髪などがなされておらず、やや不快感を感じた。遊具がなかったので、必要に感じた。

## 児童養護施設 夢ホーム日記

カンボジアのコンボンズプー県にある児童養護施設「夢ホーム」は、両親や片親を亡くしたり、親がいても不遇な家庭環境にある子どもたちの教育と生活の場として、会員の皆様のご厚意により2009年3月に開園しました。

現在11歳~18歳の男女12人が暮らし、近隣の小・中・高校に通学しております。

#### ■「夢ホーム・里子訪問の旅」参加者が訪問

7月8日、同一行様が訪問、しばし交流の時を持った。平古場副理事長と及川副理事長が、お米を寄贈してくれた。

#### ■園長を失い寂しくなったホーム

7月7日にソン・チャエム園長が亡くなり、子どもたちは悲嘆にくれた。園長の補充はなく、当面2人の保母が園を守ってくれる。



お米をありがとうございました

### カンボジアの小学校に2つの井戸が完成

7月6日、「夢ホーム・里子訪問の旅」の中で、千田貞四郎様(岩手県奥州市)が寄贈した井戸の贈呈式を、旅の参加者が出席して盛大に行った。

また、同月11日、「国際ソロプチミスト安城」様(愛知県安城市)が寄贈した井戸の贈呈式を、根岸理事長が出席して行った。

2つの井戸ともに豊富できれいな水が出、生徒たちはとても喜んでいた。



国際ソロプチミスト安城様寄贈の井戸



千田貞四郎様寄贈の井戸

#### 7月に完成した井戸の内訳

寄贈者名	学校名	生徒数	所在地(県名)
1 千田貞四郎様	カットブロック小学校	550人	コンボンズプー県
2 国際ソロプチミスト安城様	トロパンアン小学校	288人	コンボンズプー県

※通算の井戸設置数(2003年~): 326基(7月現在)

#### 井戸に取り付けた化粧石けん



7月5日~11日に行った「夢ホーム・里子訪問の旅」、その後、の延泊活動で小学校や里子の家を訪問、化粧石鹸とタオルを沢山寄贈し、手洗い指導に役立った。寄贈してくれたのは、大星スズ子様(化粧石鹸200個、タオル200枚)、千葉哲様(化粧石鹸120個)、小笠原洋子様(タオル100枚) ※3人も岩手県奥州市在住の本会会員。

#### 手洗い指導に役立ちました



立派に完成した2人用トイレ棟

7月6日、第39回「夢ホーム・里子訪問の旅」で、「カットブロック小学校」(コンボンズプー県ポーンセット郡、生徒数550人)を訪問、千田貞四郎さん(岩手県奥州市)が資金提供したトイレ棟(2人用)の贈呈式を行った。既存のトイレは老朽化して半壊状態だったため、生徒たちは新しいトイレ棟が完成し、喜んでいました。

#### 千田貞四郎さんがトイレ棟寄贈



ワットコフ小学校の校長先生と(中央)

7月9日、平古場正行副理事長と及川英博副理事長が「ワットコフ小学校」(ブンペン市内、生徒数1516人)を訪問、教室で使うチョーク500本と、神戸ユネスコ協会から頂いたシャープペン200本などを寄贈した。チョークは、及川副理事長からの寄贈品。

#### ブンペン市内の「ワットコフ」小学校を訪問

絵を贈ったタメイ小学校の生徒たち



7月12日、及川英博副理事長が、夢ホームの子どもたちが通う「タメイ小学校」(コンボンズプー県チユバモン郡)を訪問、生徒たちが描いた絵画を頂いた。帰国後、絵画交流している平田小学校(岩手県釜石市)の生徒たちにも届ける予定。

#### タメイ小学校と平田小学校の絵画交流



ぬいぐるみをありがとう!

7月14日~19日、根岸理事長が里子訪問、学校訪問、夢ホームを訪問する中で、日本から持参した寄贈品を子どもたちに配り、喜ばれた。

※届けた品物と寄贈者名は次の通り

- ・鉛とカレンダ(岩橋京子様)
- ・シャープペン(神戸ユネスコ協会様)
- ・ぬいぐるみ(加藤知恵子様)
- ・人形、折紙、折紙の教本(村西宏章様)
- ・その他匿名でノートなどの学用品

#### 日本からの寄贈品を届けました

今回の講習会では、铸造した作品の研磨仕上げと、前回の続きで、花の形のピアスを作った。次の講習会を11月に予定している。



講習会の様子

横戸徹彦さん(横浜市、理事・里親会員)は隔月にカンボジアを訪問、夢ホームにある工房で、夢ホームや

#### 《夢ホーム》第37回鑄造によるアクセサリ作り技術講習会

### 愛知県板金工業組合青年部&リカバリーサポートあいちがカンボジア訪問



夢ホームの子どもたちと

6月6日~11日、同2つの団体がコラボしてカンボジアを訪問、21人が参加した。鈴木千雄さん(2016年世界)の呼びかけで始められた同旅行も今年で3回目となり、年を追う毎に内容が充実してきた。夢ホームを訪問して板金製作指導、小学校での歯磨き指導、将来校舎建設を予定している小学校訪問、孤児院訪問など、多様な6日間だった。



ブンペン郊外の道路傍で売っているのを、よく見かけます。一体何を売っているのでしょうか?

さて、何を売っているのでしょうか?



クメール教育里親基金活動レポート

本会は、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親をなくしたり、また親がいても貧しい環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学ぶことができるよう、2003年に「クメール教育里親基金」を設立、現在約390人の子どもたちを教育支援している。

7月9日、「夢ホーム・里子訪問の旅」の参加者が、2班に分かれ里子を訪問した。

初めて里子に会った里親は、日本から持参したプレゼントを届け、里子と交流した。

7月14日から19日にかけて、根岸理事長と現地スタッフが里子の家を訪ね、日本から持参したプレゼントを届けたり、新規に教育支援を開始した里子の家庭状況を里親

に知らせるためのリサーチ活動を行った。

急速に発展するカンボジアだが、地方の貧しい村で暮らす里子の家を訪問する限りでは、発展の恩恵がまだ底辺まで届いていない印象は否めない。



小さな家に8人家族が住んでいました

里子への支援金を隔月に届けています

本会のカンボジア事務所では現地スタッフが、里子を通う小学校（現在27校）を隔月（奇数月）に訪問、里親から頂戴した年会費（3万円）の中から、42%に当たる12,600円を年6回に分け、米ドルで里子に届けている。

中・高校に通う里子も出身校の小学校に集まり、教育支援金を渡している。

7月は、23日から27日にかけて、6月分と7月分を配布した。



教育支援金を届けました

教育里子を通う

小学校紹介(1)

本会が教育支援する里子を通う小学校は、カンボジア国内に27校、小学校を卒業した里子は、その周囲にある中・高校に通学している。里子を通う小学校を、順次紹介したい。

《プレチーク小学校》

◎所在地

トゥボンクモム県、  
トゥボンクモム郡、  
トンレバットコミュニティ、  
プレチーク村



プレチーク小学校で学ぶ子どもたち

◎生徒数=754人(先生は17人)

◎校長先生=サン・シームーン(59歳)

◎校舎=本会が3年前に寄贈した高床式校舎を含む3つの校舎がある。

◎授業形態=午前と午後の2部授業

◎教育里子の数=32人(7月末日)

◎環境=メコン川が近くを流れており、年により川が氾濫、校舎が水没することもあるという。

投稿

胴吹きのように

今紀子

日本の冬は、このほか厳しかった。それでも桜は咲くのである。

我が世の春がやってきたとばかりに、手足（枝）を思い切り伸ばし花を咲かせる。大空に向かって、天に向かつて、日本国中が花になる。

そんな時、ふと気がつくことがある。木の幹（胴）にしがみつこうように咲いている二、三輪の花たち。誰も見てくれなくても私たちは咲くんだ。けなげな覚悟が伝わってくる。

古木ほど「胴吹き」が見られるという。「けつぱれ」と、思わず幹をなでてみる。私たちがボランティアの活動は、胴吹きの桜にも似ている。誰かに見せびらかすわけではない。誰かのために自分のできることをやり遂げるのだという覚悟はできている。

向学心を持ちながらも、通学の夢を断られた子どもたちのために「夢ホーム」を創設して数年が経った。理事長の夢は、胴吹きから大木に育ったのである。その大木が倒れないように支



いつも元気な夢ホームの子どもたち

えていくのは、若者よ！君たちの任務である。

ボランティアツアーには、必ず夢ホーム訪問が組み込まれる。子どもたちとの交流にシナリオはない。シナリオは、自分たちで作るのである。

ちなみに今年の3月は、大学生E君が立休ジグソーパズルのような物を持参し、子どもたちと楽しんでくれた。私も挑戦してみたのだが難しい。苦戦していると、子どもたちが応援に来てくれた。やっと完成！東京スカイツリーが夢ホームで完成したのだ。

自己紹介の時、子どもたちは日本語で里親さんにも感謝の言葉を述べていた。夢ホームの子どもたちは、胴吹きの花だ。雨に負けるな。国に負けるな。いつかきつと大木になる。

みんなで夢ホームの子どもたちに会いに行こうよ。たくさん笑顔と夢をたずさえて。(東京都渋谷区、会員)

投稿

「夢ホーム・里子訪問の旅」に参加して

初めまして。こちらのNPOは、カンボジア語講習で知りました。

そこで理事長のお人柄に触れ、「ここだ」と思い、5月に里親になり、会員になりました。夫婦で作った、ため池の村に行くこと、別の団体での里子に会うことを、別行動させていた

できました。他に参加された方々も、ゴルフに行かれたり、スラム街に行かれたり、前泊してシエムリアップ観光されたりしていました。

また食事は、その度に参加希望を取っていたので、「今夜は軽く済ませたい」ということもできました。「パン屋さんを教えてください」とお願いしたら、車をそちらに回してくださいました。

移動の車の手配や、ホテルの手続きは会ですていただきましたので、限りなく個人旅行に近く、でも安く上がるグループ旅行でした。

是非、皆様にもお勧めしたいです。他の参加者方々のお話も、とても勉強になりました。

なおTVは、NHK(地上波)を見ることができ、ラインもできました。

里子に会いました。初対面ですが緊張して、ほとんど話ができませんでした。すごくかわいくて！是非また会いに行きたいです。小学校で、ノートなどを配ったのですが、シエムリアップでの通訳さんが、「私も小学校の時、そうしてもらい、日本人がすごく好きになりました。頑張ってくださいと思いました」と言っていました。

彼女が今、頑張っている姿を見ると、理事長のおっしゃる「富の分配」の意義がまさにここにあると思えました。

右半身麻痺ですが、皆様にとっても良くしていたので、行動を共にすることができました。

楽しかったです！ありがとうございました。

(東京都 里親会員)



里子を訪問しました！

ウオッチ カンボジア

「イオンモール2号店」がオープン

6月、首都プノンペン北の「イオンモール2号店」がオープンした。



イオン

「だれでもトイレ」が目見え

数年前まで、道でトイレを探すのに苦労したが、最近ではレストランやガソリンスタンドにトイレが増え、日本では当たり前になった「だれでもトイレ」が、ついに目見えした



トイレ

平和になったカンボジア社会にゆとりが芽生えた感じがする。

総選挙を目前に キャンペーン

7月29日に迫った5年に一度の国民議会選挙、与野党ともに選挙前のキャンペーン活動が行われていた。これといった野党不在の中、与党(人民党)の圧勝が伝えられているが、結果や如何に。



選挙

雨季が始まると 田植えが始まる

カンボジアの季節は雨季と乾季に分かれる。雨季は概ね5月〜10月、雨が降りだすと田植えが始まる。稲刈りは、乾季が始まる11月過ぎ。



田植え

三林けい子さんがカンボジア訪問

7月16日〜27日、三林けい子さん(新潟市、里親会員)がカンボジアを訪問した。

19日、児童養護施設「夢ホーム」を訪問、子どもたちと交流した。

21日、同じ新潟市の「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」が、今年の5月に校舎を寄贈した「ロマンソー小学校」を訪問、学用品を配布し生徒と交流した。

23日、同団体が4年前に校舎を寄贈した「トントラッチ小学校」に通う、三林けい子さんが教育支援する里子(4人)の家を訪問し、交流した。



ロマンソー小学校で

# 春さんのカンボジアレポート

## ～カンボジアの総選挙～ 鈴木春男

カンボジアの総選挙は7月29日が投票日で、7日より選挙運動が開始されました。

国家選挙管理委員会(NEC)は、20の政党の選挙活動期間を3週間に設定。全国各地で国旗と政党旗をためかせ、大きなスピーカーでがなり立てるトラックやツクツクが走り回ります。でも盛り上がりません。最大野党であったカンボジア救国党(CNRP)は、フン・セン首相の意を汲んだ最高裁判所より解党させられていて、与党カンボジア人民党の圧勝は既定のもので、野党は棄権を呼び掛けたりしています。

昨今のフン・セン首相の強権政治に欧米諸国は選挙支援を中止しましたが、日本は支援を継続し、約750万ドル(約8億2千万円)を拠出。



トゥクトゥクでデモ行進

でも国連(UN)の日本代表団は、カンボジアの政治情勢に懸念を表明し、国民の意見を反映した国家選挙を実施するよう、カンボジア政府に要請しました。

得票率より、投票率が注目される今回の選挙です。(カンボジア・シムリアップ在住、里親会員)

### 投稿

## 開通した空港線に試乗してみました(1) = 転換期を迎えたカンボジア =

昨年11月にプノンペンを訪れてからまだ8カ月も経たないというのに、プノンペンは大きく変化していました。

前はほとんど目立たなかったリキシャ型トゥクトゥク(インドから輸入されたオートリキシャ)が、トゥクトゥクと肩を並べるほど目につくようになっていました。



インドから輸入されたリキシャ型トゥクトゥク

しかも、これはスマホアプリで呼ぶことが出来、料金もトゥクトゥクより安く、目的地到着時に、距離に応じた料金が自分のスマホに表示されるので安心です。

また、いつ来るかわからずとても利用する気になれなかった市内バスも、15分おきに運航されるようになったことで、市内の交通もこれからは

増々便利になりそうです。

ところでこのプノンペンに、今年の4月から空港へ直行する列車が運行されることになりました。これまでのような車の利用では、渋滞に巻き込まれて冷や汗をかくことも度々ありましたので、今回試しにそれを利用してみることにしました。

ということで、今回は初めてプノンペン・ロイヤル駅を訪れたわけですが、あいにく空港行きの列車が出て間もない時だったようで、駅員から45分程待つように言われました。

元々時刻表などなく、約1時間に1本間隔で発車するという曖昧なもので、たった7キロメートルの距離なのにどうしてダイヤが組めないのか、その理由は、これから乗ってみて初めて理解できるものでした。(会員・匿名希望) = 次号に続く =

## 本会理事及び役職人事の報告です

2018年3月31日開催の第16回定期総会(於:練馬区立練馬文化センター)におき本会の理事を選出、更に6月12日開催の今年度第2回理事会(於:横浜市・ジョナサン)におき、理事長他の役職を選出しました。

就任期間はいずれも、2018年4月6日~2020年4月5日です。(2年間)

- 理事長 根岸恒次 ●副理事長 平古場正行、及川英博
- 相談役(理事) 石川桂
- 理事 増田環、榎戸徹彦 ●監事 上山陽子

## 本会の会員状況をお知らせいたします

(2018年7月末日現在)

- 教育里親会員 315名
- 個人会員 108名
- 団体会員 6団体
- 合計 429名(団体)

## 事務局便り

■本会の現地活動用にと、村西宏章様(里親会員)がデジタルカメラ(新品)を寄贈してくれました。ありがとうございました。第40回「夢ホーム・里子訪問の旅」(11月8日~14日)の参加者募集が始まりました。3回行われる中で、カンボジアは二番良い季節です。ぜひご参加ください。2面のクイズII回答は貯金箱でした。一度入れたら壊して開けられないそうです。

### 9月~10月の予定

- 会報「アンコールワット」9月1日付第102号発行
- グローバルフェスタJAPAN2018(9月29日~30日 於:お台場プロムナード)
- チャリティコンサート(菅原洋一出演)(9月30日 於:新潟テルサ大ホール)

## 「カンボジア夢ホーム・里子訪問の旅」のお知らせ

第40回の旅を計画しましたので、会員の皆様奮ってご参加ください。高齢の方、身体に自信のない方などに配慮し、のんびり、ゆっくりの旅です。ちょっとしたグルメも味わえ、肩の凝らないゆとりの旅ですが、観るところはしっかり観ますので、充実感を味わうことができます。

【旅の主催】 ・「カンボジア夢ホーム・里子訪問の旅」実行委員会(旅の参加者で構成します) ・本会は従来通り側面からサポートします。

【旅の期間】 ・2018年11月8日(木)~14日(水)(成田到着)

【主な内容】 ・小学校を訪問、井戸の贈呈式に参加、学用品を配布して生徒たちと交流する。 ・本会が教育支援する里子たちの家を訪ね、里子たちと交流する。 ・本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」を訪ね、子どもたちと交流する。

【参加対象】 ・本会の正会員(教育里親会員、個人・団体会員) ※加入すれば即参加可能です。

【滞在実費概算】 ・5泊6日で滞在費用は350ドル~400ドル程度(40,000円~45,000円程度)

《内訳》 部屋代5泊半日で165ドル(一人部屋)・交通費・食事代・観光経費で約200ドル。

・往復航空券(各自手配、成田⇄プノンペン)は5万円~7万円

(時期、購入方法により異なる)

【主な日程】 ・11月8日(木) 成田発(ANA直行便)プノンペン行き 午後4時到着→ミトホテルへ

・11月9日(金) 小学校訪問、井戸贈呈式・学用品配布・生徒たちと交流(交通費不要)

・11月10日(土) 悲劇の跡地視察(トゥールスレン博物館→キリングフィールド

→内戦時代の写真展示レストラン『FCC』(昼食)

希望者はオプションでアンコールワット観光(但し3名以上に限定)

※費用はおおよそ300ドルを見込んでいます

※アンコールワット入園料(37ドル)と昼食代(おおよそ10ドル)は別料金になります。

・11月11日(日) 児童養護施設「夢ホーム」訪問交流・セントラルマーケット

・11月12日(月) 里子訪問(里親以外の会員も参加できます) 2~3人の里子を訪問。

里親が参加しないときは他の里子を訪問します。

・11月13日(火) 【午前】プノンペン市内観光(希望者には小学校訪問もあります)

【午後】自由行動 夜、ANA直行便で帰国(機内泊)

・11月14日(水) 午前6時半 成田国際空港に到着



◎航空券は原則個人で手配願います。

(事務局に依頼することもできます)

◎入国ビザは現地空港で取得します。(30ドルかかります)

ビザ申請書含む入国関連書類は本会作成の記入例に従い、

機内で記入します。(旅の参加者がサポート)

◎現地滞在費用は、事前に各自ドルで用意願います。

◎ホテル(ミトホテル)の予約、車の手配は本会の実行委員会で行います。

◎参加締切日は出発の1カ月前(10月8日)、希望者は事務局へ

連絡願います。詳細資料を送付します。

◎連絡先= NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会(理事長 根岸恒次)

☎03-3991-2854 ファクス 03-3557-1213



感動的な里子訪問